

## 各郡の農林事務所紹介(2)

前号から複数回にわたって各郡で農家の助言指導につとめる郡農林事務所を特集しています。Savan PAD プロジェクトは、2021年7月現在、サバナケット全15郡の内、9郡に合計12箇所の対象地区を選定し、活動を展開しています。今回は、2018年6月から活動を開始した、ソナブリ郡、パラサイ郡の両農林事務所を紹介します。

### ソナブリ郡農林事務所

プロジェクト対象地区：ノンブアルアン地区



ソナブリ郡農林事務所  
カムスック所長

ソナブリ郡は、過去6年間にわたり雨季の洪水被害が絶えませんが、プロジェクトの支援で乾季の稲作生産性を1ヘクタールあたり4.9トンに向上させるべく努力しており、普及員達も各班で連携・協力し合い、プロジェクトの指導が継続性の高いものであると確信しています。特に、灌漑分野は水利組織が水管理を効率的に行えるようになり、灌漑ポンプの電気代節約が果たされ、今年は電気代の未納も解消されました。これは当郡にとってとても良い成果だと思っています。



#### 営農分野

- ・種子・肥料貸与事業をこれまで4季実施して134農家が参加、対象地区のほぼ全員が参加している。
- ・対象地区のコメ収量が30%増加した。  
(2017-18年と2020-21年乾季の坪刈り調査結果比較)



#### マーケティング

##### ／園芸栽培分野

- ・雨季栽培用に8棟の雨よけハウスを増設中。これまで設置したのも累計すると25棟に。
- ・堆肥作成やボカシ肥作成には、農家と共にDAFO職員も熱心に勉強中。
- ・対象地区の農家は、雨季に雨よけハウスで栽培した有機野菜を町の直売所で販売し、人気は上々。

#### 灌漑／水利組織強化分野

- ・水利組織・農家とも灌漑面積の拡大への意欲が高く、自己資金で水路を延伸。  
(土水路の建設)
- ・整備後に円滑な送水が保たれるようDAFO職員が助言を行う。
- ・乾季の灌漑面積が増加した。  
40ha → 108ha  
(2017-18年と2020-21年乾季の比較)

#### 全般

同郡の対象地区は、もともと住民からの支援の要望が強く、やる気があり、リーダーを中心に村としてのまとまりが良好。一方、洪水の影響を受けやすい地区であり、雨季には道路が寸断されてしまうことも。そのため、栽培が重要となる乾季には、DAFO職員が頻繁に農家指導に足を運んでいます。



パランサイ郡は、セーサムソイ川を灌漑用水とした稲作が中心で、乾季・雨季とも栽培の強化に努めています。Savan PAD を通じた成果を見ると、灌漑分野なら水利組織自らによる基金が設立され、栽培関連では雨よけハウスにより乾季・雨季ともに生産が行えるようになり、マーケティング分野では有機野菜の直売所が開設されるなど、多くの成果が出ており、今後も末長い支援が期待されます。



パランサイ郡農林事務所  
バンラン所長

### マーケティング／園芸栽培分野

- ・乾季は販売が減少するので、雨季作に向けて雨よけハウスの建設や修復に努めている。  
雨よけハウスは累計 35 棟を建設。
- ・普及員が熱心に農家に対応している。



### 全 般

同郡は、ベトナムへ通じる国道 9 号線上にあり、交通の便も良く交通量も多い。さらには、DAFO 事務所と対象地区が近いため、頻繁に普及員が訪問できる好環境にあります。

### 営農分野

- ・種子・肥料貸与事業をこれまで 3 季実施、64 農家(対象地区の 44%)が参加。
- ・貸与した資金の回収もほぼ 100%達成。
- ・対象地区のコメ収量が 24%増した。  
(2017-18 年と 2020-21 年乾季の坪刈り調査結果比較)
- ・品種、苗代、施肥、病害虫対策などの新たな試みを実施する篤農家も現れている。

### 灌漑／水利組織強化分野

- ・水利組織は水利費回収の必要性を、農業者は水利費支払いの必要性を理解しており、徴収率は 100%。
- ・乾季の灌漑面積が増加した。  
49ha → 156ha  
(2017-18 年と 2020-21 年乾季の比較)

## 新専門家紹介 - 松井専門家(販売促進／農家グループ強化)



農家を訪問する松井専門家(右から 2 人目)

本プロジェクトの構成要素である「高付加価値型農産物生産」に沿って、農家主体でマーケット調査、栽培作物選定、営農計画作成、栽培実践などを行い、最終的には市場ニーズにあった野菜生産による生計向上を目指します。そのために、農民たちを支援・指導する行政職員たちの農家グループの組織強化や市場対応力を向上するための指導を行い、農家グループの生産物の販売促進に力を注いで行きたいと思っております。

